

研究課題名「新生児腹部手術における臍上弧状切開の安全性と有効性」に関する研究に関する情報公開

1. 研究の対象

2003年1月から2020年12月までに当院で小腸腸管吻合を施行した患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

<目的>

小児において術創部の整容性は大きな課題となっており、新生児疾患に対しても整容性を重視して臍上部弧状切開で開腹手術することが多くなっています。新生児腸管手術の際に、臍上弧状切開の安全性と有益性について評価することを目的とします。

<方法>

2003年1月から2020年12月までに当院で小腸腸管吻合を行った新生児の術中術後経過および予後について、診療記録より後方視的に検討します。基礎疾患や出生前の診断治療などの患者背景、身長、体重、採血結果、手術時期、手術情報（術式、術中所見、手術時間、出血量、輸血量、麻酔等）、術中合併症（出血、吻合部狭窄、穿孔、感染など）、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後について診療録より抜粋し、検討します。

<研究期間>

実施承認日から2022年12月31日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野

研究責任者名 住田 亙

住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980